



# たすけあいチーム研修会

基調報告

## 「遺品整理の現場を通して」 ～地域で孤立しないために～

キーパーズ有限会社釧路支店  
北泉開発株式会社石材事業部 部長 中井弘美 氏



講演

## 「老いた社会を生きる」 ～地域が、住民ができるることを考える～

帯広大谷短期大学社会福祉科 准教授

ひで あき 佐藤英晶 氏



▲ 遺品整理担当の佐藤営業課長と中井部長

基調報告では、北泉開発株式会社石材事業部の中井部長よりお話しをいただきました。

北泉開発株式会社では、地方においても孤立死・孤独死の問題が広がつくると考え、四年前から、遺品整理事業（キーパーズ釧路支店）を始め、釧路管内を中心に遺品整理を展開されています。

二月十三日（土）、釧路市阿寒町公民館において、「平成二十七年度たすけあいチーム研修会」を開催し、町内会、民生委員児童委員、行政、社協関係者など関係者約六十名が参加し、基調報告と講演を行いました。

中井部長は、周囲との関わりの希薄さが原因で結果的に孤立死となつた方の事例等を挙げ、地域や町内会で見守つていくことの大切さに触れ、子どもに迷惑をかけたくないと考える親世代が多いが、逆に子どもに迷惑をかけられる関係をつくつていいことや、地域の人たちや子どもたちとのつながりをつくること、一人で悩まないことも大切であるとお話しさされました。

## 社会への参加と 人とのつながり

帯広大谷短期大学の佐藤英晶准教授は、講演の中で、現代の日本は世界に類を見ない超高齢社会にありながら、高齢者にとって住みづらい世の中になってしまつており、今後も高齢人口の増加に伴い、介護認定を受ける高齢者も年々増加していく中、「介護予防・日常生活支援総合事業」が始まり、今後ますます地域のボランティアが重要視されていくとお話しされました。

さらに、地域住民がボランティアを通して地域社会に参加することで相互のたすけあい活動が広がっていくと、結びつきを再認識していました。



▲ 質疑応答



▲ 講演に聞き入る参加者の皆さん